

116「そら豆」

そら豆が大好き。毎年季節になると、必ずスーパーで買って食べていた。2年ほど前、知り合いから畑で育てた採りたてのそら豆をいただいた。その味はスーパーのものとは全く別物で、柔らかくこの上なくうまかった。子供の頃、おばあさんが畑で作ったそら豆を食べていたので、その記憶が蘇ったのかもしれない。

野菜や果物の多くは、当然だが採りたてが最もうまい。特にそら豆は採りたてがよく、スーパーで買う気にならなくなった。これまで、自分で作ることなど思いもよらなかったが、昨年から畑を始めたので、自分でもそら豆をやってみようと思い立った。

そら豆は10月末から11月ころに種蒔きをする。種は豆を乾燥させたもので、堆肥、化成肥料と石灰で土作りをして、地面スレスレに埋める。数日経って芽が出ているかどうか確認すると、半分ほどカラスに食べられてしまっていた。雨が降って種が地面に顔を出してしまうと、鳥が見つけて食べてしまうとのこと。再度蒔きなおして鳥除けのネットで覆った。その後、約1週間で種が割れ芽が出て来た。

そら豆は寒さに強いが、あまり育たない状態で年を越す。



この位の大ききで年越し(11月26日)

1月に入り畝の周りに根が伸びやすいように土寄せし施肥

2月中旬：1株につき大きな3、4本の枝を残し他は取り除く

3月初旬：30cmほどに成長、根元から出ている芽を摘み取り、1株あたり6、7本残し
倒れ防止支持をする

3月下旬：芽摘みして、生育の良くない株を間引き、草取り

花が咲いたら化成肥料を追肥、肥料のやりすぎに注意

アブラムシ対策のため少量の殺虫剤を散布



花が咲き始めた(3月20日)

4月上旬：株が大きく育ち、実が付き始めた



満開の花(4月7日)

実が付き始めた(4月10日)

4月下旬：ほとんどの株に多くの実が付いてきた、収穫が待ち遠しい

5月初旬：初収穫、まだ実は小さめ



念願の初収穫(5月3日)

5月下旬：これまでに3回収穫、4回目はかなりの量を収穫

5月末：5回目の収穫で今年は終わり、すべての株を抜く

同じ敷地で畑をしている、経験豊富な方々に教えてもらいながら、何とかそら豆を育て収穫することができた。半年かけて自力で作ったそら豆は、柔らかくて格別の味！思う存分食べ、そら豆の味と食感を楽しんだ。終わってみれば、それほど手間がかかるわけでもなく、比較的手軽に作れることが分かった。ただ、他の人に比べ、途中で枯れてしまう株が多かったのが反省点。アブラムシにやられたのだと思う。それと、次回のために種となる豆を残し、保存しておけば良かったと思う。

現時点で、来年のそら豆の種まきを終えた。少しずつ時期をずらして収穫できるよう、10月中旬に最初の種蒔きをした。その後、ほぼ10日おきに3回に分けて、去年の倍くらいの量の種蒔きを行った。

種はメーカーによって、発芽割合に大きなバラつきがあることがわかり、次に種を買う時は今回の経験から発芽の良い種を選ぶようにしたい。12月10日現在、大きい株は10cmほどに育っている。

(2021.12.12)